

JIA 関東甲信越支部長活動報告

2013年2月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

2月初めから3月初めまで週末毎に全国支部長会議、埼玉保存大会、長野県建築学生コンクール、北関東甲信越学生課題コンクールが連続し、外の寒さと対照的な県単位の熱い活動に触れてきました。JIAの活動は正に公益活動であることを実感します。4月1日より始まる公益社団法人日本建築家協会の支部、地域会規程類の準備を進めていますが、4月以降も試行錯誤しながら定めていくことになります。2013年度末までには公益社団法人としての骨格が決まっていくことになりますので引き続きご協力をお願い申し上げます。

支部長活動報告

- 1日 全国支部長会議が東海支部静岡地域会中心の準備により伊豆にて開催される。北海道は今年秋に札幌で開催予定の全国大会について報告。東北からは春に開催予定の復興シンポジウムについて参加要請がある。関東甲信越は横浜大会の成果について報告する。北陸は2015年JIA全国大会並びに、北陸4会新年会に知事が最初から最後まで出席されていたことを報告。東海からは支部懸賞制度を一般公募とすることが報告された。近畿からは韓国建築家協会、釜山建築学会と合同コンペを企画し、今後国際コンペとして育てていくことが報告された。中国からは広島県で公衆便所など小さなものを含めて県の発注を全てプロポーザルにしたという報告がある。昨年芦原会長が広島県のプロポーザル審査員をした際、知事が興味を持ち、これからは入札を止めて全てプロポーザルにする方針にしたようだ。そのための協力がJIAにあり対応しているとの報告がある。四国からは4月13日開催の支部大会についての報告がある。九州は3会で費用を出し合って一級建築士資格を持つ顧問弁護士を持つこと、国際交流として福岡会が継続し、鹿児島会も新たに始めたとの報告がある。沖縄は一般紙で継続的に枠を持っているコラムの紹介、建築8団体による新年会に500名の参加があったこと、JIA活動への参加を促すため支部会員60名の内20名を役員とし、支部総会成立定足数を2/3以上とすることなどが報告された。
- 12日 支部常任幹事会を開催する。4日後に開催予定の地域サミットで地域会活

動費配分を議論するが、8日締切りで地域会から上がってきた活動報告を参考に支部執行部の方針確認をする。東京三会建築会議を開催。昨年からの懸案となっている建築東京三会と東京都との懇談会開催要望について議論する。事務所協会から大内会長並びに野生司情報委員長が出席し、オブザーバーとして岡本副会長が出席する。士会は三井所会長、可児副会長、JIAはいつものメンバーに加えてオブザーバーとして芦原会長、筒井専務理事が出席する。東京都との懇談会要望の具体化是非について、事務所法について議論が交わされた。結論として以下の2点が確認された。①東京都と東京建築三会の懇談会設置要望について、大内会長が今年度内設置に向けて東京都に働きかける。②本部マターではあるが、三会合意が無いまま事務所法の立法化に進むことが無いこと、今後も事務所法について相互に協議を進めること、士法改正についての議論に建築士会も積極的にかわること、を確認した。

- 15日 JSB会議に参加する。若手交換プログラムの骨格が固まった。21日のJSB理事会で決定し、プレス発表する予定。
- 16, 17日 今日、明日は保存大会 in SAITAMA が開催される。午前中に地域サミットが開催される。地域会活動費配分額協議について、特に東京地域会から現状維持の要望が多かった。保存大会には延べ約100名が参加し、17日のメインセミナーでは内田祥哉氏による講演をいただき、現在は多様な地域性を持つ保存、修理方法が世界遺産にも認められていることなどが紹介された。続いて内田氏、中田準一氏、及び三浦代表コーディネイトでシンポジウムが続けられ、モダニズム建築について議論を深めた。
- 20日 リトアニア建築家協会との連携イベント EAST EAST 4 展実行の準備会に参加する。若手建築家を募り今秋開催予定のリトアニアでのリトアニア建築祭で EAST EAST 4 リトアニアー日本建築展を開催予定。夜は東京地域連携会議が開催された。東京地域連携会議と地域サミットの位置付けの整理が必要だという意見をもらう。地域会規則についての質疑応答を行う。
- 21日 午前中に会員増強特別委員会、午後に第209回理事会+理事懇談会が開催される。専務理事より4月1日に公益社団法人としての登記が確実になったことが報告される。登記のため定款の軽微変更を決議する。本部委員会再編に絡み表彰委員長が出席し、公益社団法人に向けた表彰制度の変更について協議する。ベルコリーヌ調査についてURより入金報告がある。会員増強に関連して、3月31日までに入会申し込みをした者については、4月または5月の理事会において現行規定で入会審査することを決議する。現行規定の非登録建築家(52名)、協力会員、専門会員の扱いについて協議する。①非登録建築家については、2013年度は権利保持、一年以内に本人確認の上、移行手続きを行う。②協力会員については個人協力会

- 員移行の通知を行う。③専門会員については正会員移行の通知を行う。
- 23、24日 JIA 長野クラブ建築コンクールに参加する。土曜日は横内敏人氏による特別講演と懇親会で、日曜日は大学、専門学校、工業高校の卒業設計コンクール審査会が催された。
- 26日 JIA 法制度委員会の事務所法検討会議に出席する。JIA のスタンスを確認。国際委員会が開催される。アルカシア(アジア建築家連合)の会長に国広ジョージ氏が就任されている間、セクレタリーとして随行していたマルコ・コルベツラ氏によるアルカシア会議の様子を紹介していただく。
- 27日 JIA アーカイブス委員会に出席する。元関東甲信越支部長の戸尾氏作品集出版について報告がある。途中退席し、支部常任幹事会を開催する。地域会活動費配分について常任幹事会としての見解を確認する。拙速にせず1年間かけて役員会で議論を集約できれば良いと考える。地域会規則が徐々に上がってきており逐次確認をしているが、支部役員会及び本部理事会の承認まではまだ時間を要する。スケジュールに関して本部からの正式な見解を要請した。最終回となる第15回横浜大会実行委員会を開催する。一般参加者を除いて約800名の大会参加という盛会な大会でありながら1,600万円という小さな事業規模で赤字を出すこともなく終えることができ、大成功のJIA大会と言って良いと思う。大会準備に奔走された皆様、遠くから大会に参加された皆様、本当にご苦労様でした。



支部長活動報告 2013年2月
2013年3月6日作成 上浪 寛